

おかやま 河川だより

高梁川特集



みなさんこんにちは。10月に入り梅雨、秋雨、台風など大雨をもたらす期間(出水期)も終盤に入りました。今年是中国地方では台風の上陸が今のところなく、高梁川では取水制限が行われるなど大雨にはあまり縁のない出水期でした。

しかし、つい最近でも福山市で時間90mmを超える集中豪雨が発生するなど、いつ、どこで災害に遭うか分からない状況にあります。

今回は高梁川の特集ですが、一見、写真のように河川整備も進み穏やかにみえる高梁川も災害に対しては人ごとではありません。ご承知のように岡山平野はほとんどが干拓や埋め立てによってできたゼロメートル地帯。鎌倉時代には現在の倉敷市酒津あたりまでが海でした。倉敷市街地も明治時代までは東高梁川が流れていた場所を埋め立ててきた所です。そのように高梁川下流地域は災害に弱い場所なのです。

この号では、地域の皆様の安全・安心のために、現在、岡山河川事務所がどのような取り組みを行っているかをご紹介します。

(副所長 佐藤敦司)



吉井川



旭川



高梁川

国土交通省 中国地方整備局
岡山河川事務所

② 基盤漏水対策 位置図② (清音箇所)

～平成18年7月豪雨による災害復旧工事が完了しました～

平成18年7月の梅雨前線豪雨により、吉井川・旭川・高梁川の国が管理している区間では、護岸や堤防などに多大な被害を受けました。特に高梁川の総社市清音地区では堤防被害はありませんでしたが、42箇所の基盤漏水(吹き上げ)が発生したため、対策工法を検討し、平成19年度には対策工事が完了しました。



被災状況



基盤漏水による被災状況
(川から離れた田から土と水が噴出)

工事状況

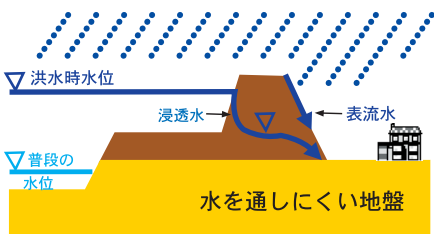


対策実施状況
(地中に止水壁(鋼矢板)を設置)

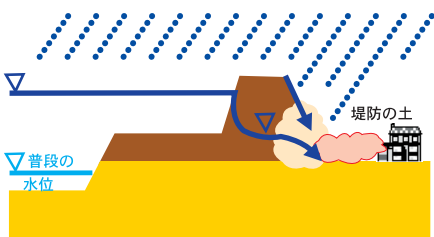
職員による検査実施状況

決壊は下図のとおり、場所により異なるため現場に応じた有効な対策を実施しています

① 堤体漏水対策 (倉敷市酒津)

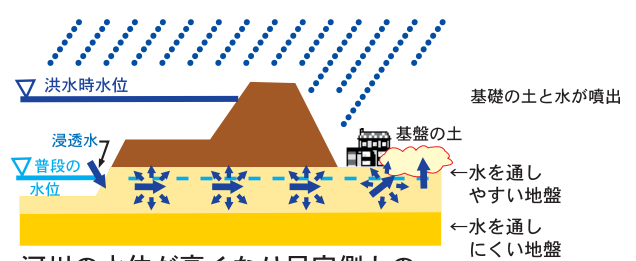


河川水が堤防を浸透して、堤防斜面の下側に噴出し法面の降雨も下側に集中

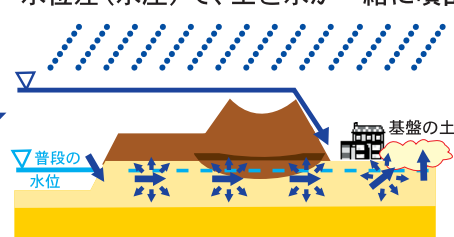


堤防の土が流れだし、堤防が決壊

② 基盤漏水対策 (総社市清音)

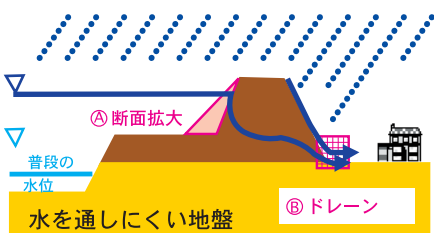


河川の水位が高くなり民家側との水位差(水圧)で、土と水と一緒に噴出



地盤の土が流れ出し、堤防が沈下し越水・決壊

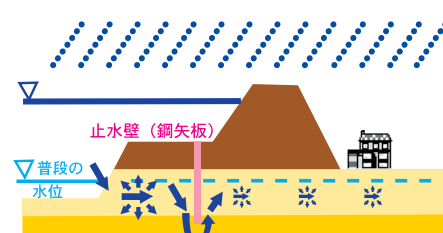
決壊の起こり方



④ 堤防に肉付けして断面を大きくし、河川水を入りにくくする。勾配が緩くなり、安定性が増加する。

⑤ かごに碎石を詰めたものに置き換えて堤防に入った水を排水する。

そして対策



止水壁(鋼矢板)を水の通りにくい地盤まで打ち込み、地盤を通る水量・水圧を低減する。



止水壁(鋼矢板)

高梁川のmiraiの川づくり —河川整備計画の策定状況—

高梁川のmiraiの川づくりについて、「高梁川水系河川整備基本方針」が平成19年8月16日に策定されました。

これを受け、今後20年～30年間の具体的な河川整備の内容を示す「高梁川水系河川整備計画」を策定しているところです。計画策定にあたっては、河川に詳しい学識経験者や地域住民のみなさんに意見を伺いながら具体化していくこととし、現在、河川整備計画原案の作成に向けた作業を進めています。

河川整備基本方針 策定（平成19年8月16日）

現時点

意見への対応方針の設定

説明・情報提供

意見など

【明日の高梁川を語る会】

河川に詳しい学識経験者で構成し、専門的な立場から意見を頂きます。



河川整備計画原案の作成

河川整備計画原案の公表
原案の縦覧(ホームページ)

- 岡山県知事、関係市長
- 地域と共に明日の高梁川を考える会
- アンケート調査(チラシ・ホームページ等)
- ホームページを通じての意見

意見の集約

明日の高梁川を語る会

地域と共に明日の高梁川を考える会

地域のみなさんのご意見を反映させるために開催します。ご意見やご要望は河川整備計画策定のための基礎資料となります。



河川整備計画案

- 岡山県知事、関係市長
- 関係省庁

河川整備計画(国管理区間)策定

高梁川出張所便り —出張所の業務—

高梁川出張所では、以下のような業務を行っています。

①工事監督業務

左頁で紹介した工事や除草など維持・修繕工事等の監督業務を行っています。

②河川管理業務

みなさんに河川を安全に利用していただくために、また、堤防を含め河川管理施設の状況を把握するために、日々河川巡視を行っています。

③許認可業務

河川の利用や占用に係わる許認可などの窓口業務も行っています。

高梁川に関するご質問・ご相談や、許認可に関するご質問等がございましたら、高梁川出張所まで、お気軽にご連絡下さい。

【高梁川出張所の連絡先】

〒710-0806 岡山県倉敷市西阿知町西原793
TEL:086-465-1763 FAX:086-466-5661



除草状況



河川巡視状況



おかやま河川だよりをご覧頂いた方から沢山のご意見、ご質問をいただきました。誠にありがとうございます。

今回は、ご意見・ご要望が多い伐木に関するご質問にお答えいたします。

Q

河川の中にたくさんの木や竹が繁茂していますが、洪水時の水の流れが悪くならないでしょうか。心配なので、早く木を切って欲しい

A

岡山河川事務所が管理する吉井川、旭川、高梁川において、伐木に関する要望がたいへん多く、このため洪水時に水の流れを妨げている箇所については、自然環境に配慮しながら計画的に伐採を行っています。

しかし、伐採した樹木の処分に多大な費用がかかっており、平成16年度から伐採木の有効利用及びコスト縮減を図るため、伐採木の無料配布を行っています。

また、昨年度は地域の方々にご協力頂き、「伐木ボランティア」のみなさんとの協働作業による伐採も行いました。



平成20年6月23日
伐採木の無料配布(旭川)



平成20年1月27日
伐木ボランティア(高梁川)

高梁川で取水制限を実施

～ダム貯水率が低下～

高梁川流域では、6月以降の降水量が平年の半分以下と少なく、上流にある6つのダムの貯水率が急激に減少したため、高梁川の河川管理者と利水者で組織する高梁川水系水利用協議会(第1回渇水調整会議)において、「生活用水5%、工業用水10%、農業用水20%」の第一次取水制限を実施することを決定しました。

この決定を受けて、8月28日から取水制限を開始し、その後降雨による一時解除はありましたが、9月10日に再開して以降9月末まで取り組みを続けた結果、貯水率が最低で37.2%まで減少したものの、大幅な低下を回避することができました。

しかし、ダム貯水率は冬季渇水に至った昨年より更に低く、長期的に安心できる状況でないことから、第3回渇水調整会議において、10月以降も「生活用水5%、工業用水5%、農業用水10%」(かんがい期を終えた農業用水の取水量の減少を考慮して若干緩和)の取水制限を引き続き実施することを決定しました。

高梁川の水は、西は笠岡市から東は玉野市にまで及ぶ広範囲な地域で、生活用水、工業用水、農業用水に利用されており、その水源であるダムからの水供給が大いに役立っています。

みなさんも限りある水資源を大切に使用していただくようご協力をお願いします。



第2回渇水調整会議の開催状況
(平成20年9月5日)

◆水門等操作員の局長表彰を行いました



国土交通省では、水門等操作員として多年にわたり業務に従事され、他の操作員の模範になる方に対し、その功績を讃えて局長表彰を行っています。

今年度、岡山河川事務所では7月18日(金)に、10年間水門等操作に従事されました大森良道氏、小野田利正氏、北根博文氏、長汐孝嘉氏4名の局長表彰式を行いました。

表彰受賞者の小野田氏からは「受賞を光栄に思うと共に、健康で任務を果たせたことに感謝したい」とのお言葉を頂きました。

水門等操作員の皆様のご協力に感謝するとともに、今後とも安全で安心した生活が営めるよう、引き続きご尽力を頂きたいと考えています。
(総務課 清水)

◆河川愛護モニターの委嘱を行いました

国土交通省では、地域の方々と河川管理者との連携をより深めることを目的として、河川愛護モニター制度を実施しています。

平成20年度河川愛護モニターを公募したところ、30名の応募があり、各水系(吉井川・旭川・高梁川)あわせて8名の河川愛護モニターを選考し、7月1日(火)に委嘱式を行いました。

河川愛護モニターの皆様から寄せられる貴重なご意見、ご要望を河川管理業務に役立てていきたいと思っております。



(占用調整課 植田)

◆生き物を調べて水質を知ろう!



梅雨の中休みとなった6月30日(月)、和気町立本荘小学校4年生55名と一緒に吉井川の支流金剛川の水質を調査しました。

この調査は川に棲む生き物を採取し、水質の指標となる生き物の種類や数から水質を判定するもので、生徒達は歓声や悲鳴(?)をあげながら、ヤゴ・エビ・魚等を慣れぬ手つきで捕まえました。奮闘の甲斐あって調査地点(宮橋)の水質は4段階評価で上から2番目と判定され、昨年同様に比較的きれいな水質を保っていることがわかりました。

毎年7月から8月にかけて、吉井川・旭川・高梁川の流域で同様の調査を実施しています。子供会などでの参加も大歓迎です。

来年の参加希望は事務所まで御連絡下さい!

(防災情報課 横山)

みんなの VOICE

「おかやま河川だより」のバックナンバーを、岡山河川事務所ホームページに掲載しています。



皆様から頂いたご意見・ご質問は「VOICE」のコーナーでできるだけご紹介・お答えします。

挟み込みのはがきで自由なご意見をお聞かせ下さい。

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所

〒700-0914 岡山県岡山市鹿田町2丁目4番36号
Tel.086-223-5101(代表) Fax.086-222-7835
ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/>